



2013

平成 25 年

復興期

ともに苦難を乗り越え、
新しい未来へ

平成 23 年

2011

広がる絆 雛まつりの開催
まちなかの各家での展示が定着

毎年春に、まちなかで開催されている「雛まつり」。町の店や個人宅のお雛様を、各家で飾っていらしています。いまでは60軒以上に雛壇や雛飾りが飾られ、多くの人々が訪れるまつりに成長しました。飾られるのは、江戸時代から平成に至る様々な雛壇飾りや、手作り雛。雛づくりは、浪江町から避難されている方々とも協力し、また町内の小学生たちも授業で実施するなど、老若男女が町や地域の絆を越え、心ひとつに取り組んでいます。

雛まつり期間中、民家で飾られた雛壇飾りを公開。

- 2013 平成25年
- 2月 ● 浪江町との災害公営住宅整備協定締結
 - 4月 ● 旧伊達郡役所保存修理工事着工
 - 5月 ● 映画「物置のピア」・桑折町応援団設立
 - 6月 ● 中央公民館分室（図書室）開館
 - 7月 ● 桑折駅北側公園開園
 - 8月 ● 天皇皇后両陛下下行幸啓町内通過メール観光と災害時における人員輸送等の協力協定締結
 - 10月 ● 桑折町地域防災訓練（平田地区）相馬福島道中心抗設型式
 - 11月 ● 県トガス協会東北支部と災害時協力協定締結
 - 12月 ● 中央公民館分室の愛物が「遊学館」よもぎに決定
 - 平口桑折一新酒発表

- 2012 平成24年
- 2月 ● 桑折町除染対策支援事業組合設立
 - 桑折町総合計画「復興こおり創造プラン」策定
 - 3月 ● ホールボディカウンタによる内部被ばく測定開始（やすらぎ園）
 - 4月 ● 復興こおり創造フォーラム開催
 - 4地区の仮置場説明会開催
 - 桑折町放射能対策推進町民会議設立
 - 中央公民館開館
 - 7月 ● 町内除染作業開始
 - 8月 ● 上市市と災害時相互応援協定締結
 - 9月 ● 米の放射性物質全量検査開始
 - 10月 ● ツケ宿町・高富町と災害時相互応援協定締結
 - 桑折町地域防災訓練（陸合地区）
 - ことし医療費助成制度を18歳まで拡大

- 2011 平成23年
- 4月 ● ことし医療費助成対象年齢を15歳まで引上げ
 - 5月 ● 幼稚園の給食無料化
 - 6月 ● 仮設住宅入居開始
 - 7月 ● 園庭・校庭の表土除去作業開始
 - 8月 ● 園庭・校庭の表土除去作業開始
 - 定額給付金
 - 8月 ● 幼稚園小・中学校ヒアリングを設置
 - 9月 ● 広報こおり第50号発行
 - 浪江町避難者支援に関する協定締結
 - 積算繰上計（ラズバッシュ）配布
 - 米の放射性物質モニタリング調査の結果、出荷可能となる
 - 10月 ● 桑折町地域防災訓練（桑折地区）
 - 原発事故対策室設置
 - こおり復興除染計画策定
 - 11月 ● 桑折町農地等放射性物質低減化対策協議会設立
 - 12月 ● 食品放射能測定開始（桑島分庁舎）
 - 果樹除染開始

あの日あの時

東日本大震災により大きな被害を受けた、町のシンボルで国指定重要文化財「旧伊達郡役所」。修復にあたっては「原状回復」を行いながら、今後再び大地震に見舞われることがあっても大破しないよう、文化庁の指導の下、耐震補強工事が行われ、震災から丸3年後の平成26年4月、ようやく再びその威容を現しました。

平成25年には桃農家激励のため、天皇皇后両陛下の行幸啓がありました。また、被災した桑折町を舞台とした映画「物置のピア」の撮影も行われ、少しずつ町の復興が加速していく姿が発信されました。

東日本大震災と原発事故災害により、本町を取り巻く環境は激変してしまいました。この未曾有の大災害を克服し、やすらぎと希望に満ちた「こおり新時代」を目指して確かな復興を図るため、平成24年2月に「復興こおり創造プラン」を策定。

「町土の除染なくして復興なし」「町民の健康なくして復興なし」「町民の安心なくして復興なし」を3大スローガンに掲げ、町民全てが安心して将来にわたり住み続けられるまちづくりを進めています。

平成23年には近隣市町に先駆けていち早く仮設住宅を建設しました。また、食品放射能濃度測定を開始しました。

平成24年3月にはホールボディカウンタによる内部被ばく検査、7月からは仮置場が設置された地区から除染作業が開始されました。

未曾有の大災害を克服し、やすらぎと希望に満ちた「こおり新時代」をめざして